

## 7大学スーパーコンピュータ比較表

2023年4月現在

大学名	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学
中央処理装置 (理論演算性能, メモリーサイズ)	PRIMERGY CX2550 M4, PRIMERGY CX400 M4 (3.084PFLOPS, 376.5TB)  PRIMERGY CX1640 M1, PRIMERGY CX600 M1 (0.877PFLOPS, 31.5TB)	NEC SX-Aurora TSUBASA (1.48PFLOPS, 45TB)  NEC LX 406Rz-2 (278TFLOPS, 17TB)  NEC SX-Aurora TSUBASA (2.39PFLOPS, 66TB)	FUJITSU Oakbridge-CX (6.61PFLOPS, 256.5TiB) ※2023年9月末サービス 終了  FUJITSU Wisteria/BDEC-01 (Odyssey, Wisteria-0) (25.9PFLOPS, 240.0TiB)  FUJITSU Wisteria/BDEC-01 (Aquarius, Wisteria-A) (7.2 PFLOPS, 36.5TiB)	FUJITSU FX1000 (7.782PFLOPS, 72TiB)  FUJITSU CX2570M5 (7.489PFLOPS, 82.875TiB)  HPE Superdome Flex (77.414TFLOPS, 48TiB)  HPE ProLiant DL560 (537.6TFLOPS, 37.5TiB)	Camphor3 (7.63 PFLOPS, 140TiB)  Laurel3 (2.65 PFLOPS, 185TiB)  Cinnamon3 (114.6 TFLOPS, 32TiB)  Gardenia (1.29 PFLOPS, 8.2TiB)	NEC OCTOPUS (1,463TFLOPS, 72.9TB)  NEC SQUID (16,591TFLOPS, 415.2TB)	ITO サブシステムA (6.91PFLOPS, 384TB)  ITO サブシステムB (3.05PFLOPS, 49TB)  ITO 基本フロントエンド (0.42PFLOPS, 61TB) ※2023年度以降 共有タイプサービス終了  ITO 大容量フロントエンド (49.6TFLOPS, 48TB) ※2023年度以降サービス終了
総理論演算性能	3.96PFLOPS	4.15PFLOPS	39.71PFLOPS	15.886PFLOPS	11.68 PFLOPS	18.054PFLOPS	10.43PFLOPS
主メモリーサイズ計	408TB	128TB	533TiB	240TiB	365.2 TiB	488.1TB	542TB
ディスク容量	16PB	3PB	38.2PB	30.44PB	44 PB	24.1PB	24.6PB
2022年度 年間借料	約 7.6億円	約4.6億円	約16.3億円	約9.0億円	約 7.7億円	約 11.3 億円	約 11.1億円

7 大学スーパーコンピュータ利用負担金表 1 (北海道大学)

2023年4月現在

北海道大学つづき

大字名	北海道大学	
中央処理機構 (メモリーサイズ)	<b>スーパーコンピュータ</b> PRIMERGY CX2550 M4, PRIMERGY CX400 M4 (376.5TB) PRIMERGY CX1640 M1, PRIMERGY CX090 M1 (31.5TB) インタークラウド PRIMERGY CX400/CX2550 M4 (256GB×16) PRIMERGY CX400/CX2550 M4 (256GB×51) PRIMERGY 2540 M1 (256GB×4)	
基本サービス	大型計算機システム利用申請時の利用者登録において1件につき	年額 12,960円
	ただし、学生において1件につき	年額 2,160円
附加サービス	スーパーコンピュータ利用によるバッチ処理において	
	共用ノード (演算)	
	サブシステム A	
	A3コース : 演算時間 3,000,000秒まで	年額 24,000円
	A15コース : 演算時間 15,000,000秒まで	年額 81,000円
	A100コース : 演算時間100,000,000秒まで	年額 405,000円
	A250コース : 演算時間250,000,000秒まで	年額 810,000円
	サブシステム B	
	B3コース : 演算時間 3,000,000秒まで	年額 19,500円
	B15コース : 演算時間 15,000,000秒まで	年額 66,000円
	B100コース : 演算時間100,000,000秒まで	年額 330,000円
	B250コース : 演算時間250,000,000秒まで	年額 660,000円
	占有ノード (演算およびスパコンストレージ)	
	サブシステム A	
	1ノード (3TBのwork領域を含む)につき	年額 93,000円
	サブシステム B	
	1ノード (3TBのwork領域を含む)につき	年額 78,000円
	スパコンストレージ	
	home領域 1TBにつき	年額 20,000円
	work領域 3TBにつき	年額 30,000円
	(いづれも年度内利用に限る)	
	クラウドサーバ利用において	
	仮想サーバ 1単位につき	月額 700円
	(ただし、最小2単位とする)	年額 8,400円
	物理サーバ 1台につき	月額 14,000円
		年額 168,000円
	GPUサーバ 1台につき	月額 20,000円
		年額 240,000円
	追加ストレージ 1TBにつき	月額 500円
		年額 6,000円
	インターネットクラウドパッケージ利用において	
	3拠点 1単位につき	月額 42,000円
		年額 504,000円
	4拠点 1単位につき	月額 56,000円
		年額 672,000円
	移行用サーバ利用において	
	Hスタンディングサーバ	月額 2,268円
		年額 27,216円
	Sサーバ 1台につき	月額 1,026円
		年額 12,312円
	Mサーバ 1台につき	月額 4,104円
		年額 49,248円
	Lサーバ 1台につき	月額 10,260円
		年額 123,120円
	Sサーバ、Mサーバ、Lサーバ	
	追加ストレージ 1TBにつき	月額 1,890円
		年額 22,680円
	クラウドストレージ利用において	
	1TBにつき	月額 500円
		年額 6,000円
	(いづれも年度内利用に限る)	
出力	大規模アプリケーション利用において	
	普通紙1枚につき	432円
	表紙紙1枚につき	1,188円
	クロス1枚につき	3,996円
備考	1 一般利用コースにおいて利用できる大型計算機システムは、スーパーコンピュータ、アプリケーションサーバ、スパコンストレージ、クラウドサーバ (仮想サーバ、物理サーバ、GPUサーバ及び移行用サーバ)、クラウドストレージ及び大規模プリンタとする。 2 基本サービスにおいては、以下のサービスを利用することができる。 スーパーコンピュータサービス 1) 鉄用・デバッグ用の共用ノードの利用 2) アプリケーションサーバの利用 3) home領域 (スパコンストレージ) クラウドサービス 1) クラウドストレージ 3 基本サービスに係る経費の負担において、学生の適用となるものは学校教育法における「学生」とし、「学生証」写しの提出をもって適用とする。その他の適用については、センター長が適当と認めたものとする。 4 スーパーコンピュータの共用ノード利用において、演算時間の算出方法は利用ノード数に経過時間 (秒) を乗じて計算するものとする。	

	5 スーパーコンピュータの占有ノード利用は、申請後の承認日から年度末までの利用とする。また、承認日に応じて次のとおり利用負担金とする。 1) 7月～9月の場合、利用負担金額の7.5%とする。 2) 10月～12月の場合、利用負担金額の5.0%とする。 3) 翌年1月～3月の場合、利用負担金額の2.0%とする。 6 スーパーコンピュータシステムの付加サービス (占有ノード等) は、研究グループでの共同利用ができるものとする。研究グループの構成メンバーは、大型計算機システムの利用者の中から、付加サービスの申請者が指定する。
	7 クラウドサーバにおけるサーバ構成は以下のとおりである。 1) 仮想サーバ 1単位あたり コア数1、メモリ6GB、ストレージ50GB 2) 物理サーバ 1台あたり コア数4.0、メモリ2.56GB、ストレージ2TB 3) GPUサーバ 1台あたり コア数4.0、メモリ2.56GB、ストレージ2TB、GPU 2基 (Tesla V100)
	8 移行用サーバにおけるサーバ構成は以下のとおりである。 1) Hスタンディングサーバ 1台あたり コア数1 (HA機能)、メモリ3GB、ストレージ100GB 2) Sサーバ 1台あたり コア数1、メモリ3GB、ストレージ100GB 3) Mサーバ 1台あたり コア数4、メモリ12GB、ストレージ100GB 4) Lサーバ 1台あたり コア数10、メモリ30GB、ストレージ100GB
	9 インタークラウドパッケージについては、一般財団法人高度情報科学研究機構 (IIST) が公算するHPCIシステム共用計算資源の利用研究課題及び学校教育法規則に基づき認定された学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 (HPCN) が公算する共同研究課題の採択者に限って利用するものとする。ただし、センター長が適当と認めたときは、採択者以外もその利用を妨げない限度において利用することができる。
	10 インタークラウドパッケージにおける物理サーバと拠点については以下のとおりである。 1) 3拠点：北海道大学、東京大学、大阪大学において各1サーバ 2) 4拠点：北海道大学、東京大学、大阪大学、九州大学において各1サーバ ※ 本コースの他、民間企業等利用コースがある。
施行 (運用) 年月日	2018.12.1

7 大学スーパーコンピュータ利用負担金表 2 (東北大学・東京大学)

大学名		2023年4月現在	
中央処理装置 (メモリーサイズ)		東北大学	
NEC SX-Aurora TSUBASA(45TB) NEC LX 400Rc-2(L7TB)			
【大学・学術利用】			
演算負担 指 針 費	AOBA-A	共有 (無料)	利用VE数1(実行数、実行時間の制限有) 無料
		共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 125円
		共有 (定額)	負担額10万円につき課金対象時間800時間分使用可能
	AOBA-B	占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 270,000円
		共有 (従量)	課金対象時間 = 利用ノード数 × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 22円
		占有	負担額10万円につき課金対象時間4,600時間分使用可能
	AOBA-C	共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 125円
		占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 216,000円
		占有	5TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 3,000円
	ファイル 負担指 針 費	共有	10TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 6,000円
	出力負担指 針 費	共有	大判プリンタカラープリント フォト光沢用紙1枚につき クロス1枚につき 1,200円
	【民間機関利用 (成果公開型)】		
演算負担 指 針 費	AOBA-A	共有 (無料)	利用VE数1(実行数、実行時間の制限有) 無料
		共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 250円
		共有 (定額)	負担額20万円につき課金対象時間800時間分使用可能
	AOBA-B	占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 540,000円
		共有 (従量)	課金対象時間 = 利用ノード数 × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 44円
		占有	負担額20万円につき課金対象時間4,600時間分使用可能
	AOBA-C	共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 250円
		占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 432,000円
		占有	5TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 6,000円
	ファイル 負担指 針 費	共有	10TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 1,200円
	出力負担指 針 費	共有	大判プリンタカラープリント フォト光沢用紙1枚につき クロス1枚につき 2,400円
	【民間機関利用 (成果非公開型)】		
演算負担 指 針 費	AOBA-A	共有 (無料)	利用VE数1(実行数、実行時間の制限有) 無料
		共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 500円
		共有 (定額)	負担額40万円につき課金対象時間800時間分使用可能
	AOBA-B	占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 1,080,000円
		共有 (従量)	課金対象時間 = 利用ノード数 × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 88円
		占有	負担額40万円につき課金対象時間4,600時間分使用可能
	AOBA-C	共有 (従量)	課金対象時間 = (利用VE数×8を切上げた数) × 経過時間(秒) 課金対象時間1時間につき 500円
		占有	利用VE数8 利用期間3ヶ月につき 864,000円
		占有	5TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 12,000円
	ファイル 負担指 針 費	共有	10TBまで無料、追加容量1TBにつき年額 2,400円
	出力負担指 針 費	共有	大判プリンタカラープリント フォト光沢用紙1枚につき クロス1枚につき 4,800円
	備 考	1 負担額が無料となるのは専用のネットワークで実行されたものとし、制限期間を超えた場合は強制終了する。	
2 演算負担指 針 費の課金対象時間については半期毎(月から9月及び10月から3月)に合計し、1時間未満を切上げて負担金を請求する。			
3 演算負担指 針 費について定額制を選択した場合はスーパーコンピュータ及び並列コンピュータを課金対象時間の範囲内で共用できる。			
4 占有利用期間は年度を超えないものとし、期間中に障害、メンテナンス作業が発生した場合においても、原則利用期間が延長はない。			
5 ファイル負担指 針 費については申請日から当該年度末までの料金とする。運用期間が1年に満たない場合は、月割をもつて計算した額とする。			
施行(運用) 年月日	2020.10.1		

大学名		2023年4月現在	
中央処理装置 (メモリーサイズ)		東京大学	
FUJITSU PRIMERGY CX400 M1/CX2550 M5/CX2560 M5(192GB/ノード×1,368; Oakbridge-CX) FUJITSU PRIMEHPC FX1000 G32GB/ノード × 7,680; Wisteria/BDEC-01 (Odyssey) FUJITSU PRIMERGY GX2570 M6 (512GB+GPU:49GB×8)/ノード × 45; Wisteria/BDEC-01 (Auraria)			
Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム			
コース	負担金額(税込)		ディスク容量
	大学・公共機関等	企業	
一般申込 (基本セット)	申込1セット当り 150,000円 (8,640 トークン)	申込1セット当り 180,000円 (8,640 トークン)	申込1セット当り /work 4 TB 利用者当り /home 50 GB
ノード固定	申込1セット当り 225,000円 (8,640 トークン)	申込1セット当り 270,000円 (8,640 トークン)	/work 4 TB 利用者当り /home 50 GB
一般申込 (最小セット)	12,500円 (720 トークン)	15,000円 (720 トークン)	/work 4 TB 利用者当り /home 50 GB
トークン追加	12,500円 (720 トークン)	15,000円 (720 トークン)	
ディスク追加	6,480円/(1 TB × 125月)		1 TB単位で申込可 (/workのみ)
備 考	※トークン消費係数は1.00、ただしトークン消費係数1.50のノード群(優先利用向け)を全体の15%程度設ける ※1ジョブで利用可能な最大ノード数は1256 ノード 1 「大学・公共機関等」は第3条第1号、第2号、第3号、第4号、第6号および第8号に該当する者に適用する 2 「企業」は第3条第7号に該当する者に適用する 3 利用期間については利用開始月から当該年度のサービス終了日までとし、年度を超えないものとする。利用期間の指定がある場合は利用終了日までとする 4 トークンとはジョブ実行時にノード時間積(経過時間×ノード数)にトークン消費係数を乗じた値を消費するものとし、トークン残量がなくなった場合には、ジョブ実行は禁止される。但し、許容リソースの状況によって非優先ジョブの実行を許可するものとする 5 計算資源を予約する申込においては、予約した期間およびノード数に相当するジョブ実行を行ったものとみなして、トークンを消費するものとする 6 トークンは利用期間内に限り有効とし、利用終了後にトークンの残量がある場合でも引継ぎおよび利用負担金の返還は行わない 7 付帯したトークンは、利用期間内に全量が使用できることを保証するものではない 8 トークンの一部を他のスーパーコンピュータシステムへ移行することができる。移行元と移行先でのトークン量の対応については別表5に定める 9 ノード固定は審査によって認められた利用期間およびノード数にて占有利用できるものとする。但し、トークン残量がなくなった時点で占有は解除される 10 ノード固定の申込に提供するリソースは、申込状況やシステムの稼働状況により変更となる場合がある。変更となった場合の負担金額の適用については申し合わせによるものとする 11 追加オプションは利用期間内に限り有効とする 12 追加オプションの負担金額は追加単位に追加する資源量および利用期間を乗じたものとする 13 申込全体のトークン量が提供可能なトークン量の1.2倍を超えない場合に限り受け付けるものとする。但し、企業、若手・女性、大規模ICTチャレンジ等の公募制度による利用、講義・講習会等の教育利用およびトライアルユース等の申込においてはこの限りでない * Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステムでは、スーパーコンピュータを無償、または通常利用に比べて安価な利用負担金で、一定期間試用できる制度を実施している。負担金等は以下を参照。		
お試スバコン利用 (無料体験)	基本負担金		ディスク量
	大学・公共機関等	企業	備考
通常利用(トライアル)/ 企業利用(トライアル)	基本負担金		ディスク量
	大学・公共機関等	企業	備考
※トークン消費係数は1.00、ただしトークン消費係数1.50のノード群(優先利用向け)を全体の15%程度設ける			
施行(運用) 年月日	2023.4.1		

7 大学スーパーコンピュータ利用負担金表 3 (東京大学・名古屋大学)

東京大学つづき

2023年4月現在

Wisteria/BDEC-01スーパーコンピュータシステム				
コース	負担金額(税込)		備考	
	大学・公共機関等	企業		
一般申込 (基本セト) Wisteria-O/A	申込1セト当り 90,000 円 (8,640 トークン)		申込1セト当り /work 2 TB 利用者当り /home 50 GB	
公募制度による申込 Wisteria-O	申込1セト当り 90,000 円 (8,640 トークン)	申込1セト当り 108,000 円 (8,640 トークン)	申込1セト当り /work 2 TB 利用者当り /home 50 GB	
公募制度による申込 Wisteria-A	申込1セト当り 27,000 円 (25,920 トークン)	申込1セト当り 324,000 円 (25,920 トークン)	申込1セト当り /work 6 TB 利用者当り /home 50 GB	
GPU専有申込 (公募制度の申込可) Wisteria-A	申込1GPU1セト当り 364,500 円 (25,920 トークン)	申込1GPU1セト当り 187,400 円 (25,920 トークン)	申込1GPU1セト当り /work 6 TB 利用者当り /home 50 GB	
ノード固定 (公募制度の申込可) Wisteria-A	2,916,000 円 (207,360 トークン)	3,499,200 円 (207,360 トークン)	/work 48 TB 利用者当り /home 50 GB	
一般申込 (最小セト) Wisteria-O/A	7,500 円 (720 トークン)		/work 2 TB 利用者当り /home 50 GB	
トークン追加	7,500 円 (720 トークン)	9,000 円 (720 トークン)		
ディク追加	6,480 円/(1 TB * 12ヵ月)		1 TB単位で申込可 (/workのみ)	
	※ Wisteria-Oのトークン消費係数は1.00(1ノード当り)、Wisteria-Aのトークン消費係数は3.00(1GPU当り) Wisteria-Oにはトークン消費係数1.50のノード群(優先利用向け)を全体の15%程度設ける ※ Wisteria-Oの1ジョブで利用可能な最大ノード数は12,304ノード Wisteria-Aの1ジョブで利用可能な最大GPU数は64GPU ※ GPU専有申込の申込単位			
	トークン量	大学・公共機関等	企業	
1	25,920	364,500 円	331,400 円	
2	31,820	729,000 円	874,800 円	
4	103,680	1,458,000 円	1,674,600 円	
	1 「大学・公共機関等」は第3条第1号、第2号、第3号、第4号、第6号および第8号に該当する者に適用する 2 「企業」は第3条第3号に該当する者に適用する 3 利用期間については利用開始月から当該年度のサービス終了日までとし、年度を超えないものとする。利用期間の指定がある場合は利用終了日までとする 4 Misuseを使用した場合、トークンはジョブ実行ごとにノード時間数(経過時間×CPU数)にトークン消費係数を乗じた値を消費するものとする 5 Agaricusを使用した場合、トークンはジョブ実行ごとにCPU時間数(経過時間×CPU数)にトークン消費係数を乗じた値を消費するものとする 6 トークンの残量が無くなった場合は、ジョブ実行は中止される。但し、計算リソースの状況によって非優先ジョブの実行を許可するものとする 7 計算資源を予約する申込においては、予約した期間およびノード数に相当するジョブ実行を行ったものみなして、トークンを消費するものとする 8 トークンは利用期間内に限り有効とし、利用終了後にトークンの残量がある場合でも引継ぎおよび利用負担金の返還は行わない 9 9月1日のトークンは、利用期間内に企業が使用できることを保証するものではない 10 トークンの一部を他のスーパーコンピュータシステムへ移行することができる。移行先と移行先のトークン量との対応については別表5に定める 11 ノード固定は審査によって認められた利用期間およびノード数にて占有利用できるものとする。但し、トークン残量が無くなった時点で旨は解除される 12 ノード固定の申込に提供されるリソースは、申込状況やシステムの状態により変更する可能性がある。変更となった企業の負担金の適用については申し合わせによるものとする 13 追加オプションは利用期間内に限り有効とする 14 追加オプションの負担金額は追加単位に相当する資源量および利用期間を乗じたものとする 15 追加全体のトークン量が提供可能なトークン量の1.2倍を超えない限り受け付けるものとする。但し、企業、若手・女性、大規模向けチャレンジ等の公募制度による利用、講義・講義等の教育利用およびトライアルユーザーの申込にはこの限りでない ・Wisteria/BDEC-01スーパーコンピュータシステムでは、スーパーコンピュータを無償、または通常利用に比べて安価な利用負担金で、一定期間試用できる制度を実施している。負担金等は以下を参照。			
		基本負担金	ディスク量	備考
	大学・公共機関等	企業		
お試しスレバ利用 (無料体験)	無償		/work 2 TB 最大ノード数(GPU数) /home 50 GB	利用期間は利用開始日から15ヵ月後まで 最大ノード数(GPU数) Wisteria-O: 12ノード Wisteria-A: 4CPU
		基本負担金	ディスク量	備考
	大学・公共機関等	企業		
通常利用(トライアル)/ 企業利用(トライアル)	申込1セト 付与トークン12ヵ月 27,000 円 (8,640 トークン) ※ 最大1セト ※ 最大12ヵ月分	申込1セト 付与トークン12ヵ月 24,000 円 (8,640 トークン) ※ 最大6セト ※ 最大12ヵ月分 3ヵ月分は無償	申込1セト当り /work 2 TB 利用者当り /home 50 GB	利用期間は当該年度末まで 最大ノード数(GPU数) Wisteria-O: 2,304ノード Wisteria-A: 64CPU
	※ Wisteria-Oのトークン消費係数は1.00(1ノード当り)、Wisteria-Aのトークン消費係数は3.00(1GPU当り) Wisteria-Oにはトークン消費係数1.50のノード群(優先利用向け)を全体の15%程度設ける ※ 企業利用(トライアル)は1ノード(最大Wisteria-O、Wisteria-A)に2ヵ月分			
実行(運用) 年月日	2023.4.1			

大学名	名古屋大学							
中央処理装置 (メモリーサイズ)	PU/ITSU Type1サブシステム FX1000 (32GB×2,304) Type11サブシステム CX2570M5 (384GB×221) Type111サブシステム HPE Superdome Flex (241GB×2) クラウドシステム HPE ProLiant DL360 (284GB×8-100)							
負担金の区分	利用負担金額							
基本負担金	利用登録1件につき年間額10,000円 この場合において、基本負担金額10,000円を1円当たり0.65ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
追加負担金	経費の見込等に基づく任意の金額(1,000円単位) この場合において、追加負担金が500,000円未満の場合11円当たり0.65ポイントに、500,000円以上の場合11円当たり0.8125ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。 1 基本負担金を負担することにより、演算負担ポイント及びファイル使用負担ポイントの合計が1円当たり0.65ポイントに換算した場合に5,500ポイントに達するまで、利用を可能とする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 2 基本負担金を負担し、かつ、1回当たり次表の左欄に掲げる追加負担金を負担するときは、追加負担金について利用した経費がそれぞれ右欄に掲げる換算方法に基づき追加利用可能ポイント数に達するまで利用できるものとする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。							
備考	<table border="1"> <tr> <th>1回の追加負担金の入金額</th> <th>追加利用可能ポイント数</th> </tr> <tr> <td>500,000円未満</td> <td>追加負担金額を1円当たり0.65ポイントに換算したポイント数</td> </tr> <tr> <td>500,000円以上</td> <td>追加負担金額を1円当たり0.8125ポイントに換算したポイント数</td> </tr> </table>		1回の追加負担金の入金額	追加利用可能ポイント数	500,000円未満	追加負担金額を1円当たり0.65ポイントに換算したポイント数	500,000円以上	追加負担金額を1円当たり0.8125ポイントに換算したポイント数
1回の追加負担金の入金額	追加利用可能ポイント数							
500,000円未満	追加負担金額を1円当たり0.65ポイントに換算したポイント数							
500,000円以上	追加負担金額を1円当たり0.8125ポイントに換算したポイント数							
基本負担金	利用登録10件につき年間額100,000円 この場合において、基本負担金を1円当たり0.65ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
追加負担金	経費の見込等に基づく任意の金額(一口1,000円以上) この場合において、利用可能ポイントへの換算は、別表1-1の追加負担金規程に準ずることとする。							
グループ 利用負担金	1 グループ利用負担金の申込みは、研究グループ単位で行うものとする。 2 基本負担金(100,000円)を負担することにより、別表2の演算負担ポイント及びファイル使用負担ポイントの合計が、1円当たり0.65ポイントに換算した場合に65,000ポイントに達するまで、利用を可能とする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 3 追加負担金を負担するときは、一円100円以上とし、利用可能ポイントの総額は、別表1-1の追加負担金規程に準ずることとする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 4 利用登録において10件未満となる利用登録件数については、当該登録件数を10件に切り上げるものとする。							
基本負担金	利用登録25件につき、一年度における6箇月の金額10,000円 この場合において、基本負担金を1円当たり0.5ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
追加負担金	経費の見込等に基づく任意の金額(10,000円単位) この場合において、追加負担金を1円当たり0.5ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
リテラシー 利用負担金	1 リテラシー用とは、スーパーコンピュータを利用した授業を目的とした実習を行うものという。 2 基本負担金(10,000円)を負担することにより、別表2の演算負担ポイント及びファイル使用負担ポイントの合計を1円当たり5ポイントに換算した場合に50,000ポイントに達するまで、利用を可能とする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 3 基本負担金を負担し、かつ、追加負担金10,000円を負担するときは、追加負担金について利用した経費を1円当たりポイントに換算した年度内に限るものとする。 4 利用登録において25件未満となる利用登録件数については、当該登録件数を25件に切り上げるものとする。							
基本負担金	利用登録10件につき年間額200,000円 この場合において、基本負担金を200,000円当たり65,000ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
追加負担金	経費の見込等に基づく任意の金額(200,000円単位) この場合において、追加負担金を200,000円当たり65,000ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
長期 利用負担金	1 民間利用とは、利用規程第3条第1項第7号の規定に基づきスーパーコンピュータを利用し、その成果を公表する場合のこと 2 基本負担金(200,000円)を負担することにより、別表2の演算負担ポイント及びファイル使用負担ポイントの合計が200,000円当たり65,000ポイントに換算した場合に65,000ポイントに達するまで、利用を可能とする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 3 基本負担金を負担し、かつ、追加負担金200,000円を負担するときは、追加負担金について利用した経費を200,000円当たり65,000ポイントに換算した場合に65,000ポイントに達するまで利用できるものとする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 4 利用登録において10件未満となる利用登録件数については、当該登録件数を10件に切り上げるものとする。							
基本負担金	利用登録10件につき年間額400,000円 この場合において、基本負担金を400,000円当たり65,000ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
追加負担金	経費の見込等に基づく任意の金額(400,000円単位) この場合において、追加負担金を400,000円当たり65,000ポイントに換算したポイント数を取得るものとする。							
成果非公開型 長期利用負担金	1 成果非公開型民間利用とは、利用規程第3条第1項第7号の規定に基づきスーパーコンピュータを利用し、その成果を非公開とする場合のことという。 2 基本負担金(400,000円)を負担することにより、別表2の演算負担ポイント及びファイル使用負担ポイントの合計を400,000円当たり65,000ポイントに換算した場合に65,000ポイントに達するまで、利用を可能とする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 3 基本負担金を負担し、かつ、追加負担金400,000円を負担するときは、追加負担金について利用した経費を400,000円当たり65,000ポイントに換算した場合に65,000ポイントに達するまで利用できるものとする。ただし、取得したポイントの有効期限は、当該ポイントを取得した年度内に限るものとする。 4 利用登録において10件未満となる利用登録件数については、当該登録件数を10件に切り上げるものとする。							

7大学スーパーコンピュータ利用負担金表4（名古屋大学・京都大学）

		名古屋大学つづき	
ノード単占有 利用負担金	TypeII サブシステム：1ノードにつき 一ヶ月当たり330,000 円 クラウドシステム：1ノードにつき 一ヶ月当たり 95,000 円	1ノード占有利用とは、TypeII サブシステムおよびクラウドシステムにおける一部のノードを優先的に占有し利用する場合のことをいう。	
	2の場合におけるファイル使用負担ポインタは、別表1-1 で定める基本負担金及び追加負担金の合計額とし、算定方法は、別表2 に詳述する。	3 単占有できるノード数は、1ノード単位とし、期間は一ヶ月単位とする。	
コールドストレージ 利用負担金	4ノード単占有利用は、登録時の利用期間及び年度を超えてできない。	5ノード単占有は、学期初年度の利用のみ利用可能とする。	
	ファイル負担金：10ノードにつき1日（50TB）として初年度190,000円とし、次年度以降継続する場合は、ファイル負担金は徴収しない。	クラウドストレージ管理費：10ノードにつき1日（50TB）としてファイル管理費を初年度は10,000円、次年度以降継続された場合年間10,000円を徴収する。	
ポイントの区分	ポイントの算定基礎		
	TypeI サブシステム：経過時間1秒につき0.0056ポイントに使用コア数を乗じて得たポイント数。	TypeIIサブシステム：経過時間1秒につき0.007ポイントに使用GPU数を乗じて得たポイント数。	
派遣 員負担 金	TypeIII サブシステムおよびクラウドシステム：経過時間1秒につき0.002ポイントに使用CPU ソケット数を乗じて得たポイント数。	ただし、クラウドシステムの予約システムでの利用の場合は、経過時間1秒につき0.0001ポイントに使用GPU コア数をそれぞれサブシステムで、優先ジョブクラスを使用した場合は、得た負担ポインタに2を乗じて得たポイントとする。	
	TypeIII サブシステム：CPU コアの演算時間1秒につき0.002ポイント	ホストストレージ：ファイルの使用容量が1TB 以下の場合は徴収しない。ファイルの使用量が1TB を超えた場合追加した部分について1GBにつき1日当たり0.01ポイント	
備考	1 スーパーコンピュータのバッチ処理における演算負担ポインタは、当該ジョブの経過時間及び使用ノード数（ノード共有を含む。）GPU 数、CPU ソケット数又はCPU コア数ににより算定する。		
	2 TypeIIIサブシステムの会話処理における演算負担ポインタは、1日単位で、かつ、システムごとに登録番号により利用したCPUコアの演算時間を集計し、算定する。		
3 ホストストレージのファイル使用負担ポインタは、1日単位で、かつ、登録番号ごとに使用量を集計し、算定する。			
4 各区分の利用負担をポイントに換算した場合に1ポイント未満の端数が生じるときは、これを切り上げる。			
※クラウドシステムを予約システムで利用した場合の経過時間は、予約した利用開始日時から利用終了日時となります。			
発行（運用） 年月日		2023.1.1	

		京都大学		
		2023年4月現在		
中央処理装置 (メインサーバ系)		Camphor3 (128GB × 1120) Laurie13 (512GB × 370) Cinnabar3 (256GB × 16) Gardenia (512GB × 16)		
区分	区画	利用形態	接続サービス	
	コース	タイプ	セクタ	
スーパー コン ピ ュ ー タ シ ス テ ム	グループ	コア数	メモリ	
		タイプ	セクタ	
		タイプ	セクタ	
		タイプ	セクタ	
		タイプ	セクタ	
		タイプ	セクタ	
	大規模ジョブ	タイプ	セクタ	メモリ
		タイプ	セクタ	メモリ
		タイプ	セクタ	メモリ
		タイプ	セクタ	メモリ
		タイプ	セクタ	メモリ
		タイプ	セクタ	メモリ
専用クラス	タイプ	セクタ	メモリ	
	タイプ	セクタ	メモリ	
ストレージ	容量	タイプ	セクタ	
	容量	タイプ	セクタ	
1. 利用負担額は、年度単位（大規模ジョブコースは連年単位）で算定している。また、結算期である。バッチジョブコース、グループコース又は専用クラスコースを年度途中で利用を開始する場合は年度途中で利用を終了する場合の利用負担額は、上記表中の利用負担額を12で除した後、利用月数を乗じて算出するものとし、10円未満は端数切捨てた上で、10円単位を四捨五入するものとする。				
2. 上記表の大規模ジョブコース、ストレージコース、ライセンスサービスの申請には、スーパーコンピュータシステムの利用者である必要がある。				
3. 上記表のバッチの種類は、次のとおりとする。 「共有」：当該カテゴリのユーザー間で一定の計算資源を共有するベストフォートのスケジューリングを行う。 「優先」：定常稼働状況において記録値の計算資源が確保されるようにベストフォートのスケジューリングを行う。 「専断」：定常稼働状況において記録値（24h）の計算資源が確保されるように専断スケジューリングを行う。 また、稼働状況により上記記録値の1/4の計算資源が確保されることを保証する。 「優先」：定常稼働状況において記録値（24h）の計算資源が確保されるように優先スケジューリングを行う。 また、稼働状況により上記記録値の1/2の計算資源が確保されることを保証する。 「占有」：稼働状況により上記記録値の計算資源が確保されることを保証する。				
4. システム障害、電力不足又は電気設備の故障に伴う停断、天災等の要因により、定常稼働が困難な状態においては、①上記表に規定するバッチにかかわらず、ベストフォートのスケジューリングを行う。				
5. ストレージ容量はバックアップ領域（最大総容量の1/2）を含む。				
6. グループコース及び専用クラスコースの利用者番号は、利用者あたり年額5,000円を負担すること追加される。				
7. 機関・部局定額制度 他機関又は学内における部局（「国立大学法人京都大学の組織に関する規程」第3章第2節から第11節で定める組織をいう。）の組織が、その組織化グループコースを1年度中に1回以上利用する場合は、別表1-1に規定する1.5倍の端数とする。 なお、利用負担額が年額150万円未満の場合は100人、年額150万円を超える場合は、150円/人/月を超えない利用者数を認め、ストレージは、1.5倍の容量とする。				
8. スパコン連携サービス 学術情報メディアセンターのスーパーコンピュータシステムと密な連携により、学内における部局の組織が計算サーバ等を設置する場合、下記の負担額を支払うものとする。				
区分		施設タイプ	利用形態	
スパコン連携サービス	施設タイプ	25,200円/月	専断型方式の計算サーバ等の設置費用144円につき	
	施設タイプ	27,500円/月	学内施設方式の計算サーバ等の設置費用144円につき	

7 大学スーパーコンピュータ利用負担金表 5 (京都大学・大阪大学)

京都大学ロゴ

2023年4月現在

大学名		京都大学				
スーパーコンピュータシステム (汎用機型利用)						
システム	システム資源	船通時間 (時間)	ストレージ (TB)	無料利用者数	利用負担額	
A	2ノード(112コア、129GB高速メモリ×2)	336	19.2	6	1,320,000 円/年	
	3ノード(112コア、129GB高速メモリ×3)	336	28.8	9	1,980,000 円/年	
	4ノード(112コア、129GB高速メモリ×4)	336	38.4	12	2,640,000 円/年	
	2ノード(112コア、512GBメモリ×2)	336	19.2	6	1,440,000 円/年	
B	3ノード(112コア、512GBメモリ×3)	336	28.8	9	2,160,000 円/年	
	4ノード(112コア、512GBメモリ×4)	336	38.4	12	2,880,000 円/年	
備考						
1. 利用負担額は、年度単位で算定している。また、総額表示である。 中央金庫から前倒し開始する場合及び年度途中で利用を終了する場合の利用負担額は、上記表中の利用負担額を12で除いた値、利用月数を乗じて算出するものとし、100円未満は繰り上げの場合は、100円単位を繰り上げするものとする。なお、月途中で利用を開始する場合及び月途中で利用を終了する場合は、それぞれ1月の利用とする。						
2. ストレージ容量はバックアップ領域 (最大で総容量の1/2) を含む。						
備考		2023. 4. 1				

大学名		大阪大学			
中央処理装置 (メモリーサイズ)					
NEC OCTOPUS (1,463 TFLOPS, 72.9 TB) NEC SQUID (16,591 TFLOPS, 415.2TB)					
(1) OCTOPUSの負担額					
(A) 占有					
基本負担額		占有ノード数			
382,000円/年		汎用CPUノード群 1ノード			
1,586,000円/年		GPUノード群 1ノード			
305,000円/年		MemHPCノード群 1ノード			
(B) 共有					
基本負担額		OCTOPUSポイント			
10万円		1,000 ポイント			
50万円		5,250 ポイント			
100万円		11,000 ポイント			
300万円		34,500 ポイント			
500万円		60,000 ポイント			
(C) ディスク容量追加					
基本負担額		換算単位			
2,000円/年		1TB			
負担額 上記負担額で算出した合計額に消費税 (10%) を加えて得た額					
備考					
1 負担額は上記負担額で算出した合計額に、消費税 (10%) を加えて得た額とする。ただし、産業利用 成果非公開型の負担額は、上記負担額で算出した合計額に5を乗じ、消費税 (10%) を加えて得た額とする。					
2 登録時の利用期限または年度を超えて利用はできない。					
3 データ容量は1申請単位で3TBを割り当てる。ただし、他のディスク容量と合算できない。					
4 (A) は占有ノード数を追加する場合のみ変更申請を受け付ける。					
5 (A) の2ノード以上の基本負担額は、1ノードを基準に比例するものとする。					
6 (A) は資源提供状況により1ノード以上3か月単位の申請を受け付ける場合がある。その場合の月額負担額は、1ノード年の基本負担額の1/10とする。					
7 (B) は年度途中でコースの変更はできない。新たにコースを追加する場合は申請を受け付ける。					
8 計算ノードの利用に使用するOCTOPUSポイントは、使用したノード時間に対して以下の消費係数、季節係数および燃料係数を乗じたものとする。季節係数は前年の利用状況等を鑑み、0を超える以下の値を設定する。燃料係数は、直近の電気料金を鑑み、設定する。					
		消費係数		季節係数	燃料係数
ノード群		消費係数			
汎用CPUノード群		0.1040			
GPUノード群		0.4346			大規模計算機システム
MemHPCノード群		0.0836			WEBページに記載
大容量主記憶搭載ノード群		0.7406			WEBページに記載
9 (C) は年度の途中で追加申請のみ受け付ける。					
10 (C) は1つの申請グループにつき、500TBの追加を上限とする。					
(2) SQUIDの負担額					
(A) 占有					
基本負担額		占有ノード数			
1,150,000円/年		汎用CPUノード群 1ノード			
3,032,000円/年		GPUノード群 1ノード			
4,336,000円/年		ベクトルノード群 1ノード			
(B) 共有					
基本負担額		OCTOPUSポイント			
10万円		1,000 ポイント			
50万円		5,250 ポイント			
100万円		11,000 ポイント			
300万円		34,500 ポイント			
500万円		60,000 ポイント			
(C) ストレージ容量追加					
基本負担額		換算単位			
2,000円/年		100 TB			
5,000円/年		SSD 1TB			
負担額 上記負担額で算出した合計額に、消費税 (10%) を加えて得た額とする。ただし、産業利用 成果非公開型の負担額は、上記負担額で算出した合計額に5を乗じ、消費税 (10%) を加えて得た額とする。					
2 登録時の利用期限または年度を超えて利用はできない。					
3 ストレージ容量は1申請単位で100 TBを割り当てる。ただし、他のストレージ容量と合算できない。					
4 (A) は占有ノード数を追加する場合のみ変更申請を受け付ける。					
5 (A) の2ノード以上の基本負担額は、1ノードを基準に比例するものとする。					
6 (A) は資源提供状況により3か月単位の申請を受け付ける場合がある。その場合の月額負担額は、1ノード年の基本負担額の1/10とする。					
7 (B) は年度の途中でコースの変更はできない。新たにコースを追加する場合は申請を受け付ける。					
8 計算ノードの利用に使用するSQUIDポイントは、使用したノード時間に対して以下の消費係数、季節係数および燃料係数を乗じたものとする。季節係数は前年の利用状況等を鑑み、0を超える以下の値を設定する。燃料係数は、直近の電気料金を鑑み、設定する。					
		消費係数		季節係数	燃料係数
ノード群		消費係数			
汎用CPUノード群		0.3716		0.2988	0.2248
GPUノード群		0.2914		0.3349	0.2502
ベクトルノード群		1.4110		0.8481	
9 (C) は年度の途中で追加申請のみ受け付ける。					
10 (C) は1つの申請グループにつき、100 500TB、SSD 10TBの追加を上限とする。					
(3) ONION (オブジェクトストレージ)の負担額					
基本負担額		換算単位			
2,000円/年		1TB			
備考					
1 年度の途中は追加申請のみ受け付ける。					
2 負担額は上記負担額で算出した合計額に、消費税 (10%) を加えて得た額とする。					
施行 (運用) 年月日		2023. 4. 1			

7 大学スーパーコンピュータ利用負担金表 6 (九州大学)

大学名		九州大学			
		170 サブシステムA (192GB×2000)	170 サブシステムB (384GB×128)	170 基本フロントエンド (384GB×160)	170 大容量フロントエンド (12TB×4)
一 般 利 用	区分	4ノード 月額：3,000円	1ノード 月額：2,200円	サービス終了	サービス終了
	共有タイプ	16ノード 月額：12,000円	4ノード 月額：8,800円		
		64ノード 月額：48,000円			
		128ノード 月額：96,000円			
256ノード 月額：192,000円					
ノード固定タイプ	4ノード 月額：24,000円 16ノード 月額：96,000円 64ノード 月額：384,000円	1ノード 月額：17,000円	1ノード 月額：7,400円		
公募型 プロジェクト	無料	無料	無料	無料	
ストレージ	10TB 月額：350円 100TB 月額：3,500円				
備考	・上記の金額は消費税を含む。 ・1ヶ月未満の利用期間については、当該利用期間を1ヶ月とみなす。				
民 間 利 用	区分	4ノード 月額：3,960円	1ノード 月額：2,900円	サービス終了	サービス終了
	共有タイプ	16ノード 月額：15,840円	4ノード 月額：11,600円		
		64ノード 月額：63,360円			
		128ノード 月額：126,720円			
256ノード 月額：253,440円					
ストレージ	10TB 月額：460円 100TB 月額：4,600円				
備考	・上記の金額は消費税を含む。 ・1ヶ月未満の利用期間については、当該利用期間を1ヶ月とみなす。				
施行(運用) 年月日	2019.10.1				